



新製品発表！ / 新製品コンテスト

出展社名	コクヨ株式会社		
メーカー：URL	https://www.kokuyo-st.co.jp/		
(製品名)	KOKUYO ME		
	(製品名)	2トーンカラーマーカー<マークタス>	
<p>(説明文) KOKUYO MEの文具は機能的でありながら、選び、使い、持ち歩く、あなたの生活そのものをアクセサリのように彩ります。いつもなら選ばない色、いつもなら選ばない素材。服の様に選んだり組み合わせることを、服よりも気軽に冒険できるから、あなたのことを、少しだけ新しく、個性的にみせます。あなたを今より、私らしく。</p>		<p>(説明文) 1本で2色の使い分けが出来る、ツインペン先がユニークな蛍光マーカー「マークタス」。同系色のインクなので、2色使ってもスッキリまとまったマーキングができます。また、1本で2色のマーキングができるので、持ち歩くマーカーの本数が減り、ペンケースがかさばりません。さらに、くるっと回すだけで色分けできるので、ペンの上下を持ち替えるわずらわしさや、キャップの開け閉めの手間がありません。</p>	
(製品名)	携帯ハサミ<サクサボシェ>		
	(製品名)	ツールペンケース<ピープ>	
<p>スライドして、サッと切れる キャップのない携帯はさみ</p>		<p>(説明文) キャップのいらぬスライド式はさみ。キャップがないから、コンパクトに持ち運べる、片手でサッと切れる、キャップをなくす心配がない、など利点がたくさん！もちろんはさみとしての機能性にもこだわっています。マシュマロのようなフォルムで手当たりがよく、3Dグレーレス構造刃を使用しており、刃の接する部分が最小限なので、テープを切ってもベタつきません。</p>	
(製品名)	Glasseleシリーズ		
	(製品名)	レトロブングシリーズ	
<p>(説明文) 日常にとけこむやさしい質感のGlasseleシリーズ。磨りガラスのように柔らかな光を取り入れた内側のグレンチェックがさりげないアクセントを醸し出し、明るいカラーと深みのあるカラーの配色でどんな空間にも自然と馴染みます。360度折り返し可能で、スリムな背幅の【クリアブック】や、パッと開けるサブインデックス、丈夫な裏表紙で書類を保護する【5インデックスホルダー】など、機能も優れています。</p>		<p>(説明文) 女子文具シリーズの一つ。初代キャンパスノート、スクラップブック、測量野帳、ファイルボックス、事務用連絡ケースという、歴史あるコクヨアイテムをミニサイズの文具にアレンジしました。小さくてかわいいだけでなく、ミニファイルボックスは名刺サイズのカード入れに、ミニ紙袋はお菓子などを渡すときになど、日常の様々なシーンで使いやすいアイテムです。</p>	

(製品名) 旅する野帳シリーズ



(説明文) 女子文具シリーズの一つ。旅の計画や記録をまとめた「旅のしおり」作りをサポートするシリーズです。コンパクトなサイズと、立ったままでも書きやすい硬い表紙が旅行用のメモとして人気の測量野帳に、ドット方眼罫を採用しました。シールやふせんといった周辺グッズと一緒に使うことで、「旅のしおり」をかわいく簡単に作ることができます。

(製品名) キャンパスノート (用途別) まん中が広い英習罫



(説明文) 従来の英習罫ノートの罫線幅(1:1:1)と比較し、罫線のまん中が広がったことで、小文字を書く際に字形のバランスがとりやすくなりました。上から2番目の線を点線としており、大文字を書く際にも罫線が邪魔になりにくくなっています。また基準となる線を認識しやすかつ、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいようカラーユニバーサルデザインに配慮し、上から3番目の線を青色にしています。

(製品名) ツールペンケース<ネオクリッツ ユニテ>



(説明文) ペンも小物もたくさん入れたい中学生や高校生にぴったりのツールペンケース。整頓しやすい仕切り構造で、奥の仕切りにはペン約15本収容可能です。両サイドの仕切りと中央部分に小物を分けて収容できます。ファッション雑貨とも合わせやすいカラーリングのボディは、きめの細かいマット生地とカーブのフォルムで抜け感を表現。引き手につけたバラコードで、スポーティーな本体にカジュアルさをプラスしています。

(製品名) ほんのキモチ箋シリーズ



(説明文) 女子文具シリーズの一つ。和紙の風合いを活かした、手のひらサイズの一筆箋です。温かみのある、ほのぼのとした動物のイラストは、あえて目や口の部分を空白にしています。メッセージに合わせて使う人が自ら表情を描き足すことで、自分らしさやかわいさ加わり、もっとキモチが伝わります。貼り箱は、ミニ一筆箋6冊が入られるサイズで、切手や小物の整理にも役立ちます。

(製品名) ツールペンケース<ネオクリッツ ハイル>



(説明文) 長い鉛筆などを持ち運ぶ小学生にぴったりのツールペンケース。すっきり収まる2階建て吹き抜け構造で、1階部分には消しゴムなど、2階部分にはペンやコンパスなど、吹き抜け部分にはキャップ付き鉛筆約6本や18cm定規が収容可能です。倒れやすいハサミや分度器などはゴムバンドでホールドできます。

(製品名) ツールペンケース<ネオクリッツ ワークサス>



(説明文) ビジネス小物の多いオフィスワーカーにぴったりのツールペンケース。上部が折り返せる低層構造で、ビジネスで使う一連の小物にアクセスしやすくなっています。約2本収容できるペンホルダーに5つの仕切られた小物収容スペース、さらに細かな小物を入れられるファスナー付きメッシュポケットを備えています。

(製品名) グルースティック (シワなくキレイ)



(説明文)スクラップブックやペーパークラフトなどの工作をより美しく仕上げたい、というお客様のニーズに応えるため、「GLOO スティックのり シワなくキレイ」が登場。「シワなくキレイ」タイプは、水分を抑えアルコール成分を加えたのりで、薄い紙でもシワになりにくく、キレイに貼ることができます。また接着力も強いので、封かんやプリント貼りなど、幅広い用途での使用が可能です。バリエーションは、S、M、Lの3サイズをご用意しました。

(製品名) しゅくだいやる気ペン<iOS・Android両対応モデル>



(説明文)小学生低学年~中学生向けに、いつもの鉛筆に取り付け、勉強への取り組みを分析することで、日々の努力を「見える化」するIoT文具「しゅくだいやる気ペン」。専用アプリで日々の努力が見えます。子どもには家庭学習に取りかかりやすく、保護者にはほめやすくするきっかけを与え、親子の円滑なコミュニケーションを通して「やる気」をはぐくむ商品です。iOS、Android両方のOSに対応しています。

(製品名) キャンパス まとめがはかどるノートふせん



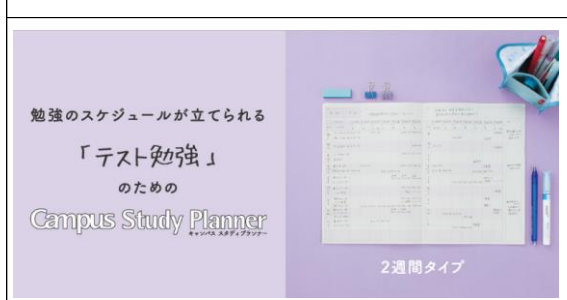
(説明文)「まとめがはかどるノートふせん」シリーズから、タテでもヨコでも使える方眼タイプと、小さめのノートに最適なミニサイズが新登場しました。「あと数行が書ききれない」「あとから復習した内容を書きたい」という時に、ノートの横や下につけたことでページを拡張し、学習内容をまとめやすくするふせんです。ノートと同じ筆記具で使用できること、ミシン入りでスッキリ折り返せるなど、好評をいただいています。

(製品名) はがきサイズで使い切りやすいラベルシリーズ



(説明文)ラベルシートを使いきれず余ってしまう、そんな困りごとを解決できる「はがきサイズラベル」。台紙の大きさを従来のA4サイズから約4分の1のはがきサイズに見直すことで、ラベルシート1枚あたりのラベル片の数を抑え、一度の印刷で使い切りやすくしました。ラベル1片あたりの価格も、台紙がA4サイズの当社従来品と同程度となっており、「ちょっと使い」のラベルユーザーにも手にとって頂きやすい商品を目指しました。

(製品名) キャンパススタディプランナー2週間型



(説明文)スタディプランナーを使用している中高生の2人に1人が使用している「キャンパス スタディプランナー」から2週間タイプができました。(※ココヨコ調べ2020年4月n=105) テスト2週間前の勉強スケジュールを見開き2ページで管理できひと目で把握できます。ノートとルーズリーフが選べ、ほかにも1週間タイプ、1日タイプから、自分に合ったスタディプランナーを見つけることができます。

(製品名) テープのり<ドットライナープチモア/スモール>



(説明文)多くのお客様にご愛顧いただいているドットライナーシリーズから、コンパクトな「プチモア」と「スモール」ができました。ペンケースに入るサイズで、小さくてもしっかり使える容量のあるテープのりになっています。「プチモア」は10m巻(柄のりタイプは8m巻)、「スモール」は13m巻で、いずれも使い切りタイプとなっています。

(製品名) キャンパスプリントファイル見開き



(説明文) 付属のシールで左右のポケットを「保護者向け」「お子さま向け」に分類でき、A4フラットファイル対応のランドセルにも入ります。折れ曲がりにくい丈夫な表紙で、連絡帳も入るマチ付きポケットと、小さなサイズのプリントやカードの収容に便利は出し入れしやすい浅めのポケット付き。「脱着防止ストッパー」があるため逆さにしてもプリントが落ちにくい仕様になっています。

(製品名) 2ウェイカラーマーカー<マークタス>



(説明文) マークタスシリーズから、新たにラインマーカーと極細ペンの組み合わせで、ノートがすっきりまとまる2ウェイカラーマーカー<マークタス>を、2020年9月上旬より発売します。本体内部でラインマーカー側と極細ペン側でインクを分ける構造になっており、それぞれの用途に合わせたインク色で使い分けを可能にしました。同系色のセットとなっているため、すっきりとした印象でノートをまとめることができます。